

【 粗い試算（令和4年2月）で見込んだ令和5年度収支不足額 】

(A) **▲550億円**

【 粗い試算からの変動（一般財源ベース） 】

(B) **▲60億円** (ア) - (イ)

《 歳入 (ア) 》	+240億円	
	府税・譲与税	+430億円
	交付税等	▲190億円
《 歳出 (イ) 》	+300億円	
	人件費	+50億円
	一般施策経費等	+250億円

【 令和5年度収支不足額の見込み 】

(A) + (B) + 今後の変動 = **▲610億円 ± α**
(今後の変動による)

⇒ 予算編成過程で再精査の上、財源対策を検討

※ 財政調整基金残高(R4 未見込) : 約1,520億円 ± α

《 参考 》 粗い試算からの変動を織り込んだ当面の財政見通し

	R6	R7	R8
粗い試算（令和4年2月）で見込んだ収支不足額	▲ 730	▲ 450	▲ 480
粗い試算からの変動（一般財源ベース）	+ 120	+ 40	+ 80
収支不足額の見込み	▲ 610	▲ 410	▲ 400

★ 今後の主な変動要素

・感染症、物価高騰等の動向を踏まえた対策の検討

・府税収入の動向、令和5年度地方財政計画及び税制改正など国の措置

など